

(29) たまねぎ(葉たまねぎを除く)

ア 各病害虫の防除

さび病

白色疫病

灰色かび病

べと病

軟腐病

アブラムシ類

タマネギバエ、タネバエ

ネキリムシ類

ネダニ

ネギアザミウマ

ア 各病害虫の防除

【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

さび病

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発病初期に薬剤を散布する。

白色疫病

(耕種的・物理的防除)

- 1 排水を良くする。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発病ごく初期から薬剤を7～10日おきに散布する。

灰色かび病

(耕種的・物理的防除)

- 1 病葉は早めに摘除し、ほ場の外に持ち出して土中に深く埋め込む。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発病が予想されたら、薬剤を施用する。

べと病

(耕種的・物理的防除)

- 1 越年罹病株(2～3月頃に葉身が白っぽく、極度に湾曲した株)を除去する。
※前年多発したほ場では、枯死葉内にできた卵胞子により多発生する傾向がある。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発病ごく初期から薬剤を、5～7日おきに3～4回散布する。

軟腐病

(耕種的・物理的防除)

- 1 排水を良くする。
 - 2 被害株はほ場に残さないよう、早めにほ場外に埋める。
- ※5～6月に発生が多い。
※風を伴う雨により、まん延する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 微生物殺菌剤
- 2 薬剤を降雨前に散布する。

アブラムシ類

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 発生初期に、薬剤を散布する。

タマネギバエ、タネバエ

(耕種的・物理的防除)

- 1 有機質肥料や未熟堆肥の施用は多発の原因となる。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を定植時に土壌混和又は生育期に散布する。

ネキリムシ類

(耕種的・物理的防除)

- 1 幼虫の捕殺に努める。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 土壌消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。
- 2 薬剤を株元散布する。

ネダニ

(耕種的・物理的防除)

- 1 酸性土壌での発生が多い傾向にあるため、は種前に中和する。

ネギアザミウマ

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生初期に、薬剤を散布する。